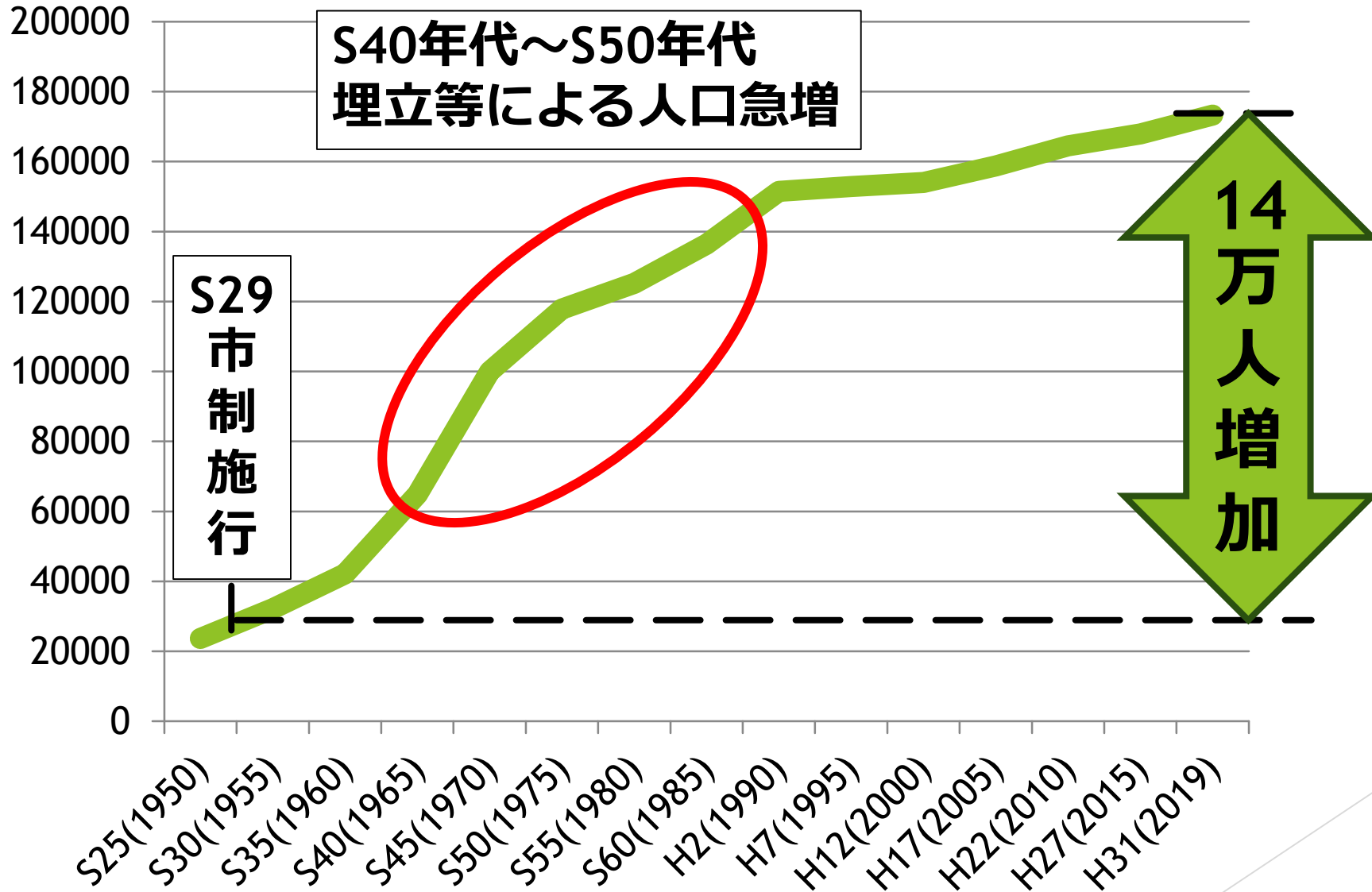


人口推計及び 意識調査結果等について

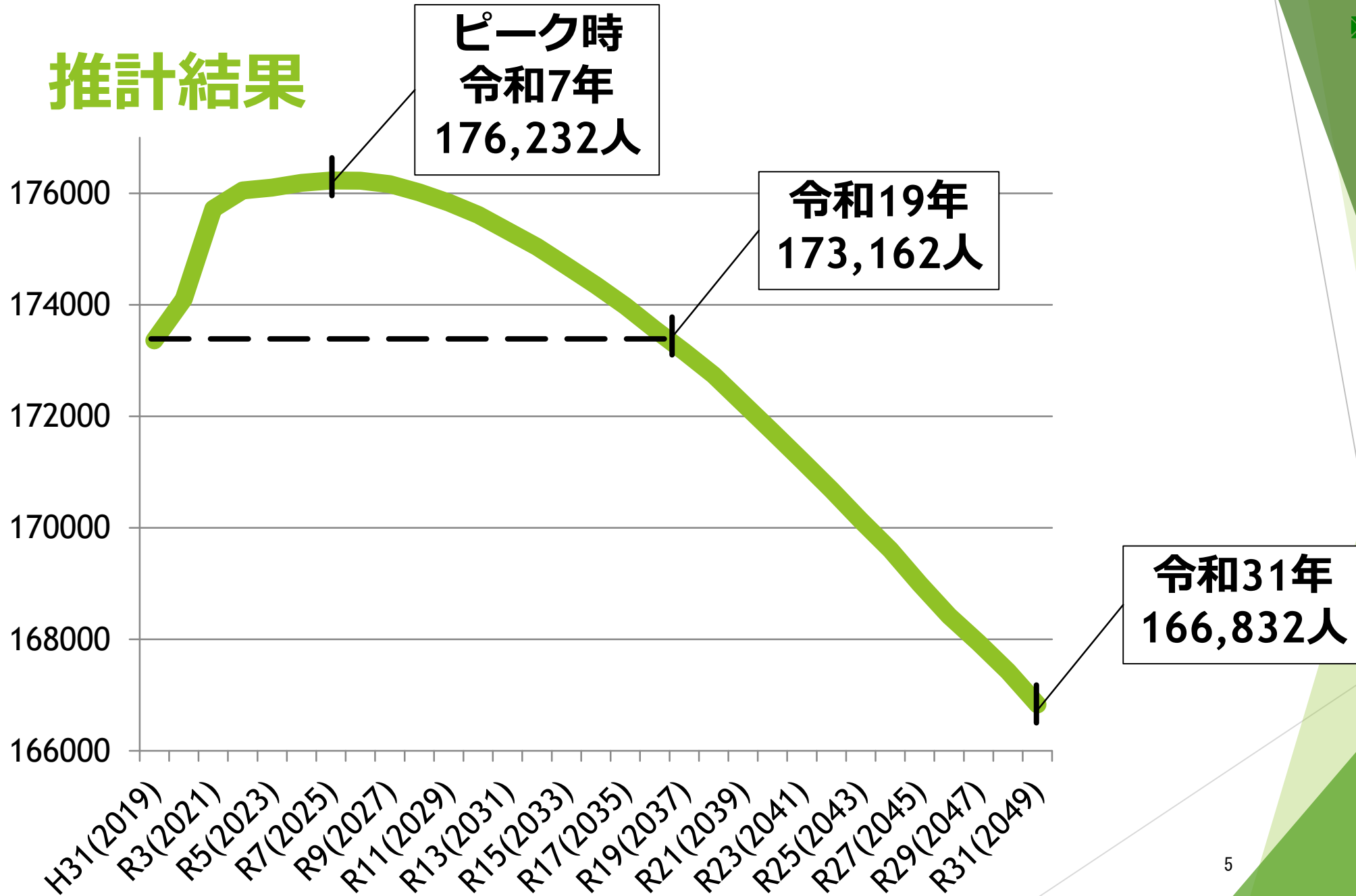
令和元年 8 月 5 日 長期計画審議会資料（総合政策課）

人口推計について

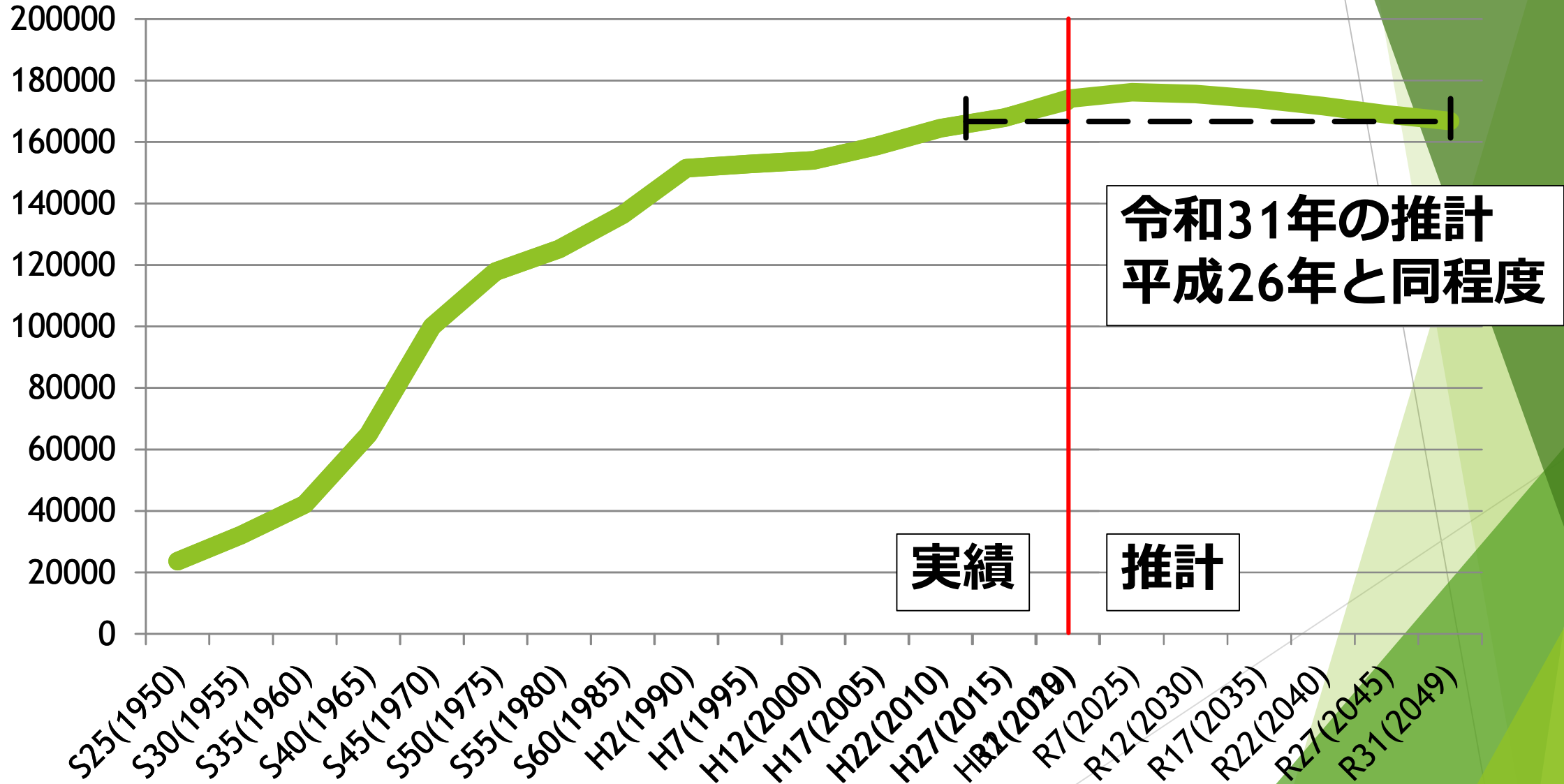
人口の推移



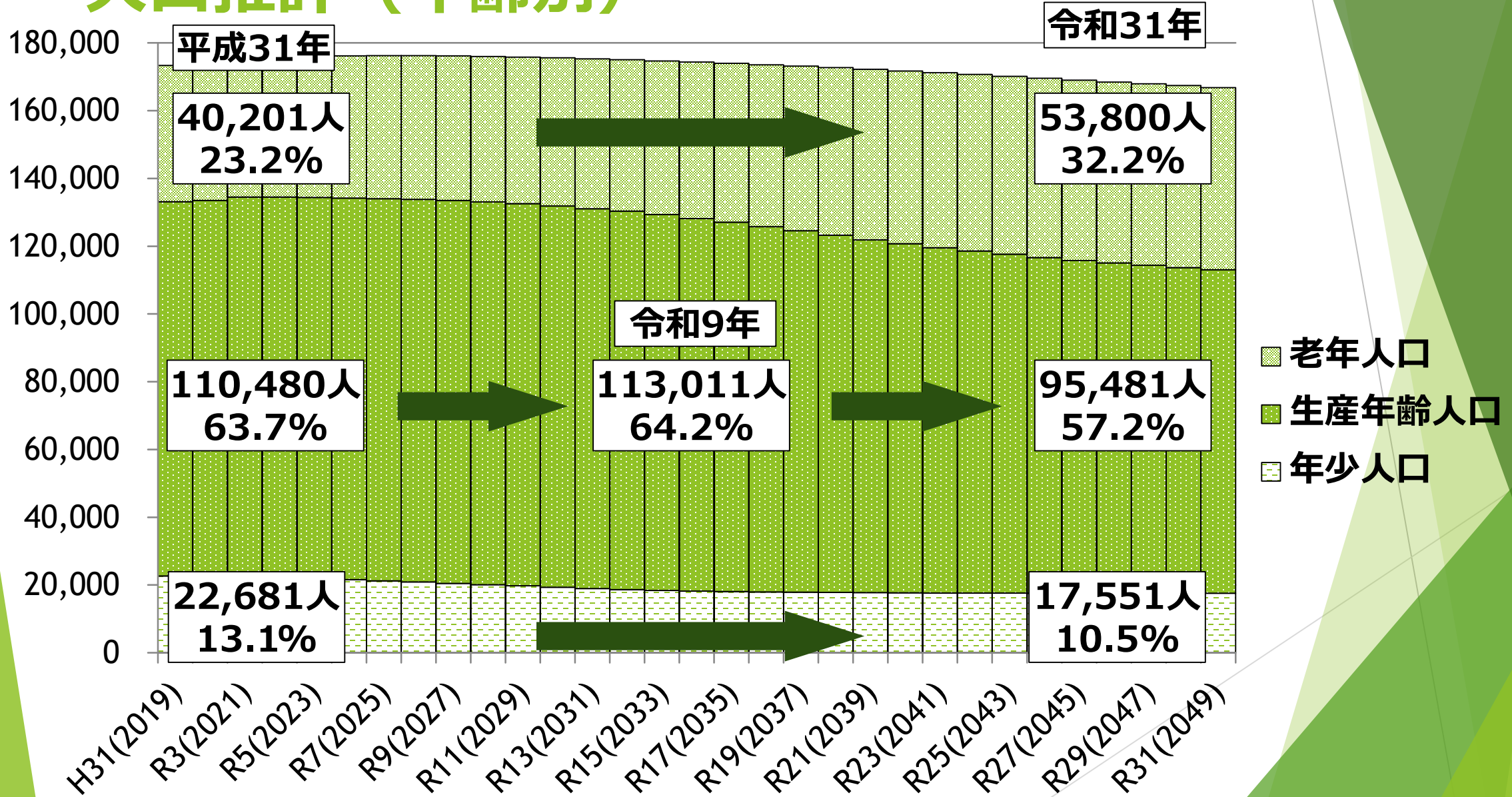
推計結果



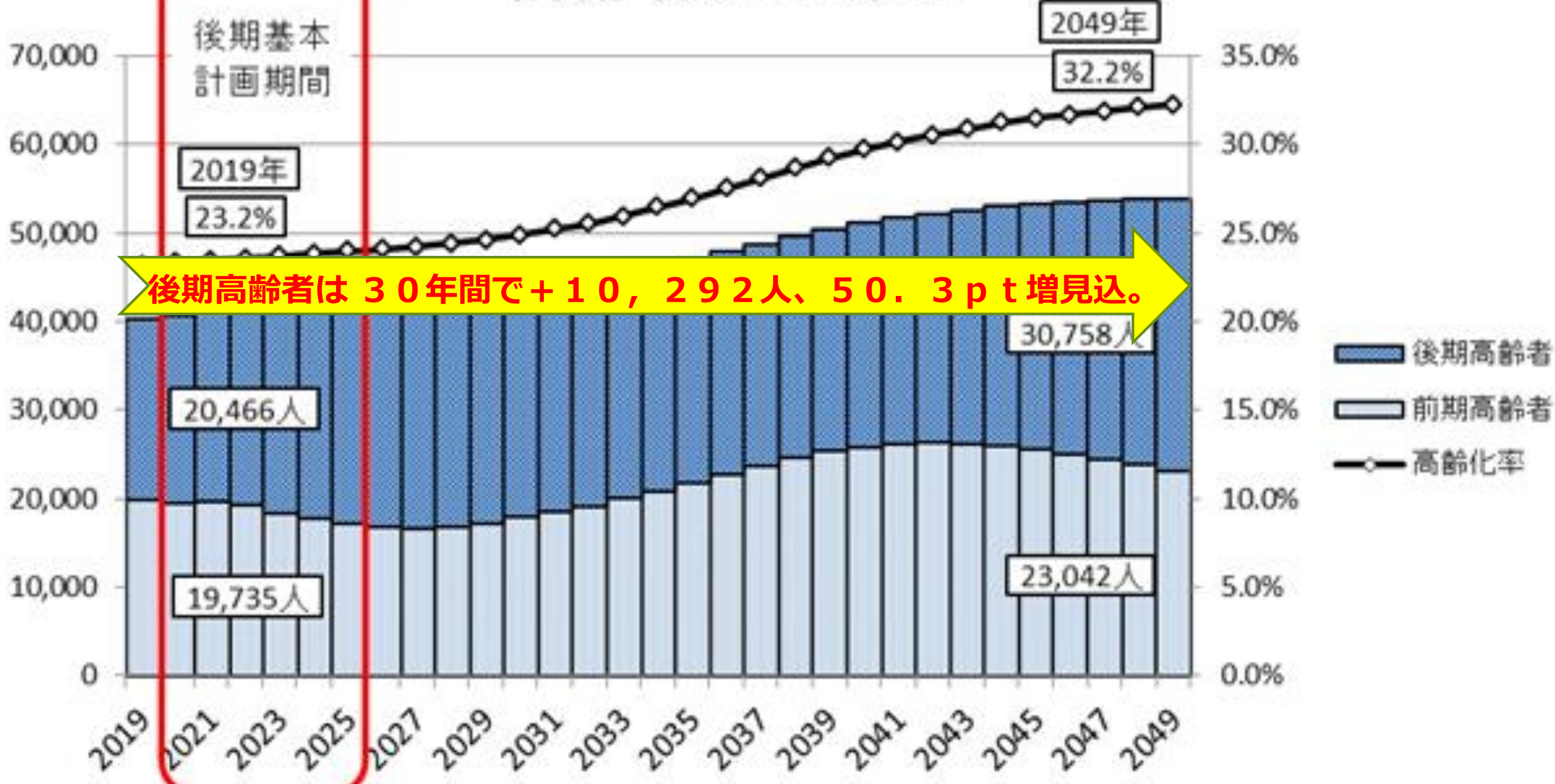
人口の推移 + 推計結果



人口推計 (年齢別)

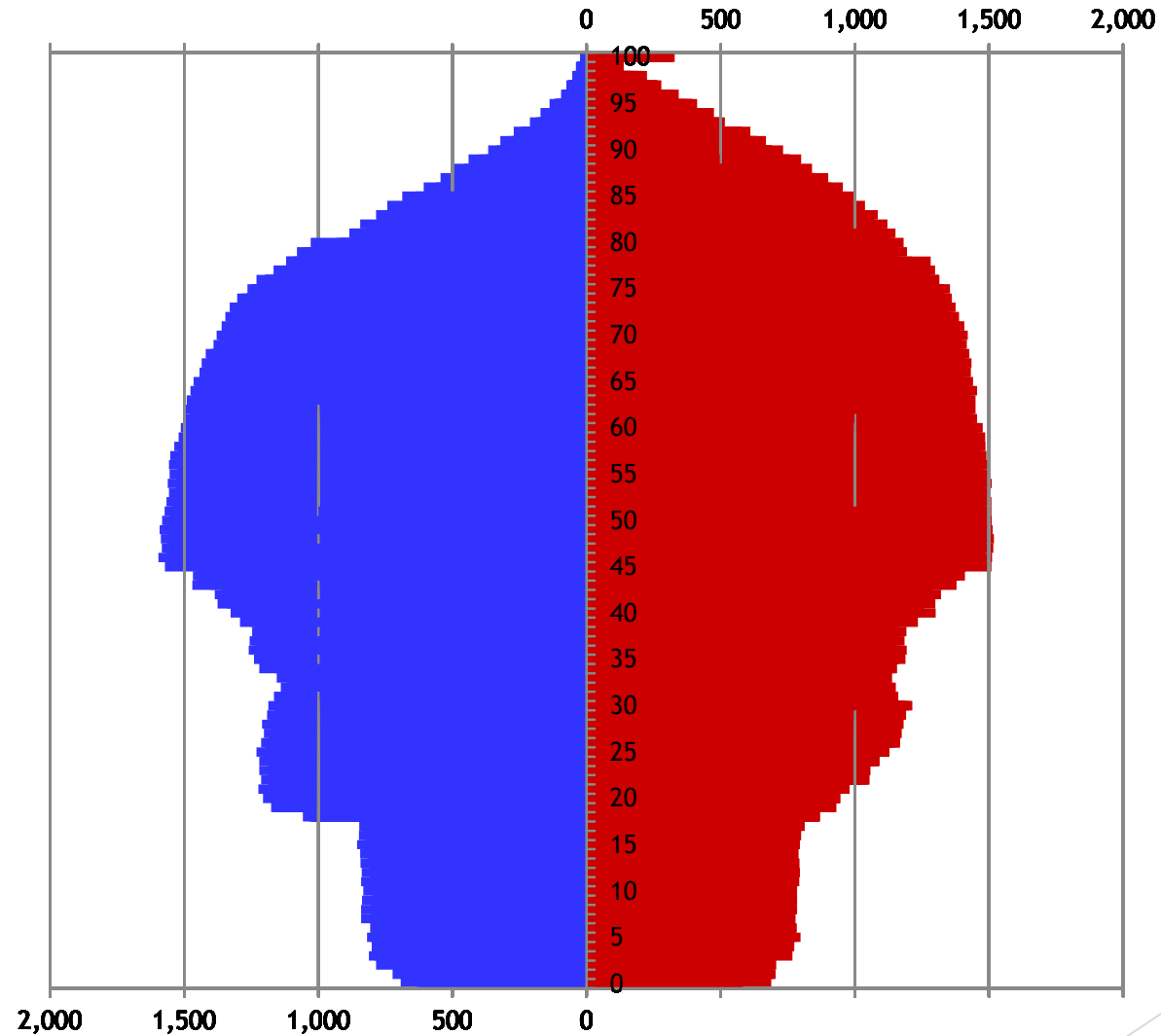


高齢者人口動向



人口ピラミッド

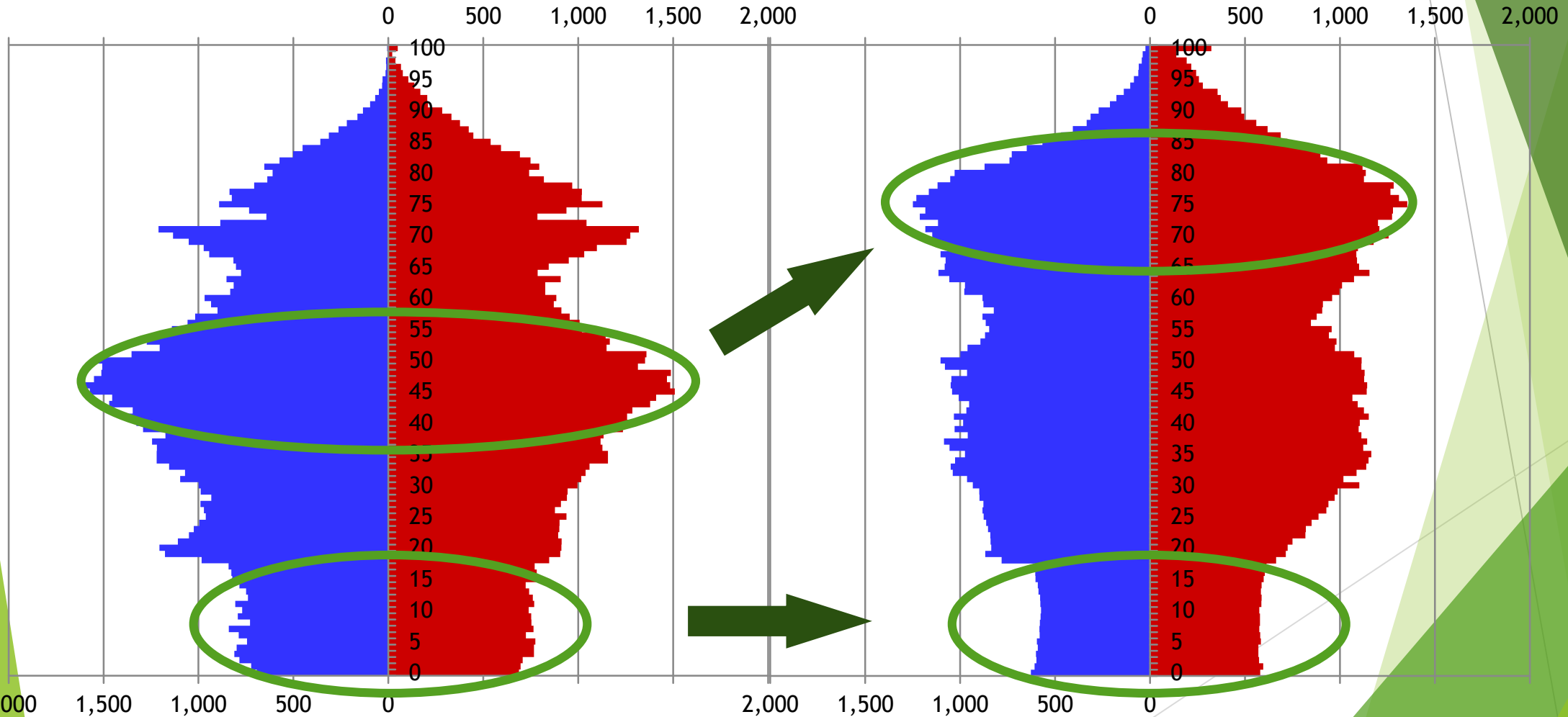
令和元年(2019年)



人口ピラミッド

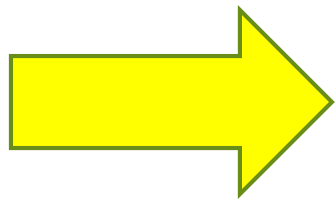
平成31年(2019年)

令和31年(2049年)



人口推計から想定されること

- ▶ 人口構成において生産年齢人口層が減少し、税収が減少。
- ▶ 高齢化に伴う福祉サービスや医療に多額の財源が必要に。
- ▶ 特に後期高齢者の増大により、医療・介護ニーズが高まり、扶助費の急速な増加が予測される
- ▶ 少子化対策の一層の重要度の高まりと係る経費の拡大



これらの対応が求められます。

市民意識調査・大学生意識調査 について

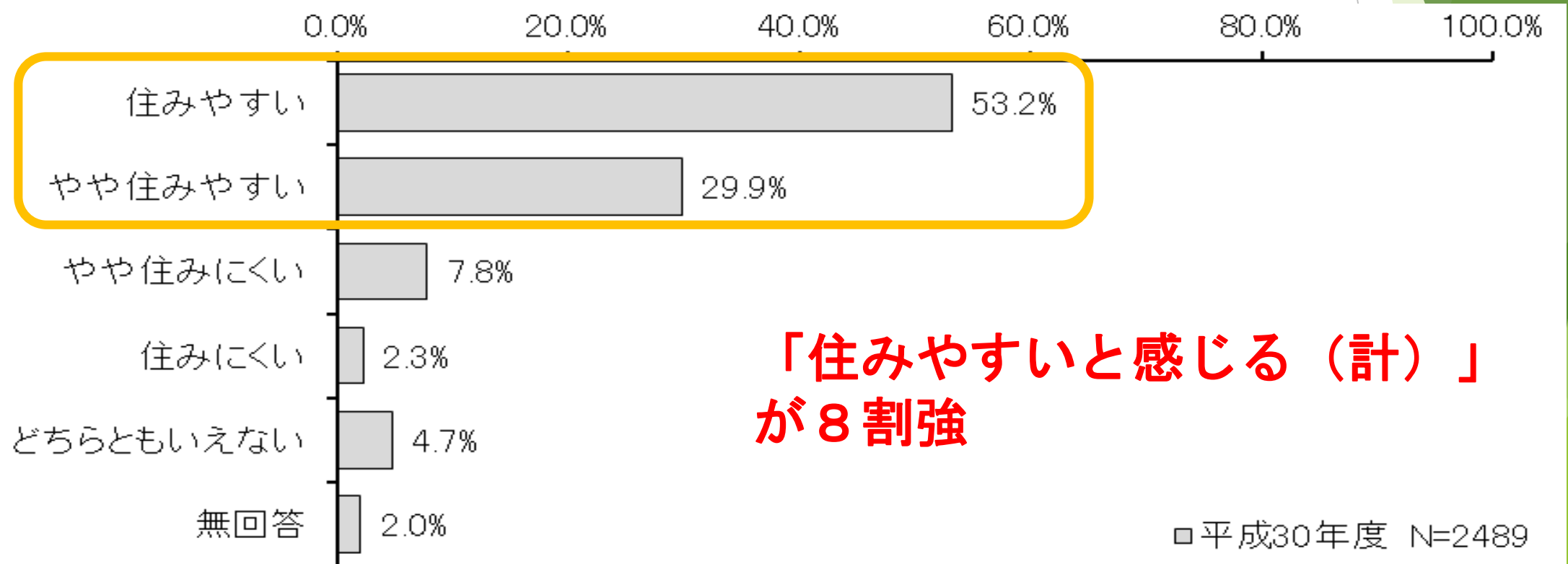
調査方法及び回収状況等

調査票		配布数	回答者	回収数		回収率	前回 H27
1	市民意識調査 (郵送回収分)	5,000票	市内在住者	2,224票	2,489票	49.8%	38.5%
2	市民意識調査 (インターネット回収分)		市内在住者	265票			
3	大学生意識調査	1,500票	在学生	959票		63.9%	84.2%

市民意識調査の結果

1. 住みよさ

問 あなたが現在お住まいの場所は、住みやすいと感じますか。



市民意識調査の結果

1. 住みよさ

問 住みやすい、やや住みやすいと感じる理由は何ですか。

※上位4位まで

交通が便利である 73.1% (平成30年度) / 67.0% (平成27年度)

災害が少ない 30.2% (平成30年度) / 24.8% (平成27年度)

住宅事情が良い 20.8% (平成30年度) / 19.9% (平成27年度)

治安が良い 16.7% (平成30年度) / 14.9% (平成27年度)

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0%

■ 平成30年度

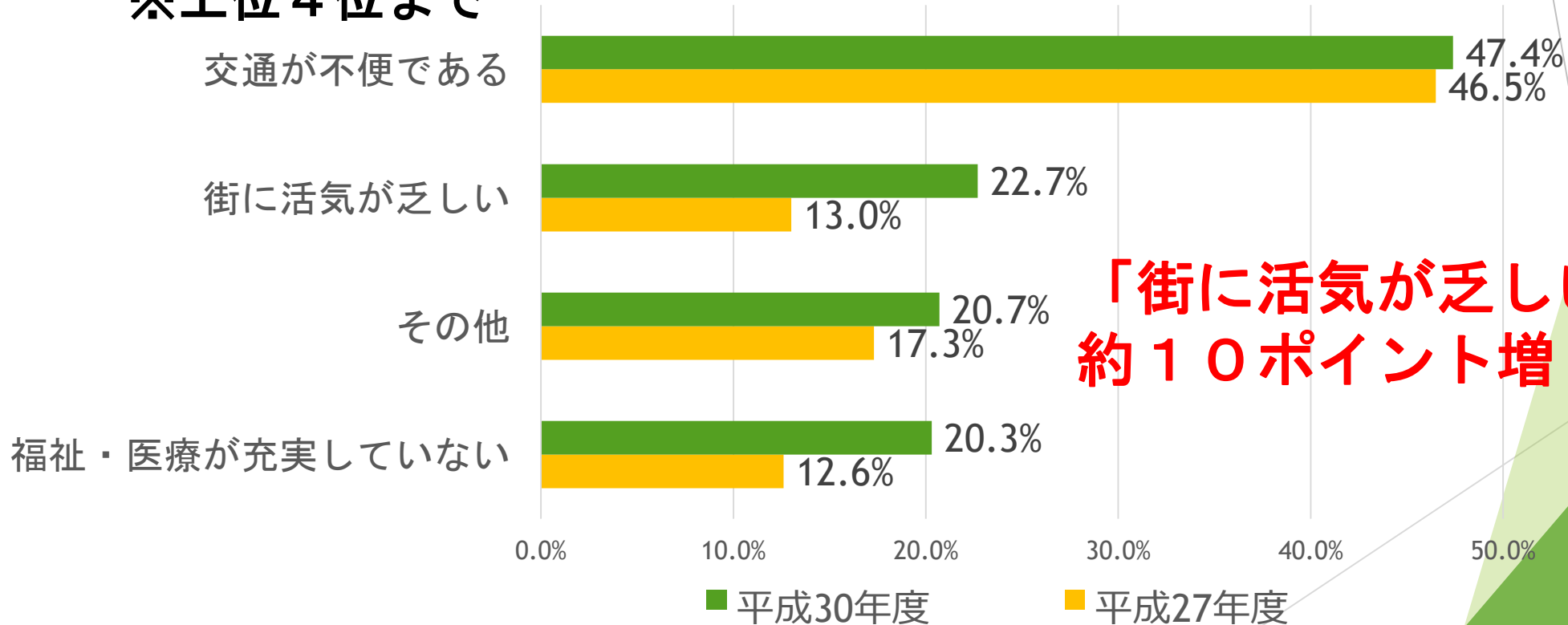
■ 平成27年度

「交通が便利」が
前回同様、最も多い

市民意識調査の結果

1. 住みよさ

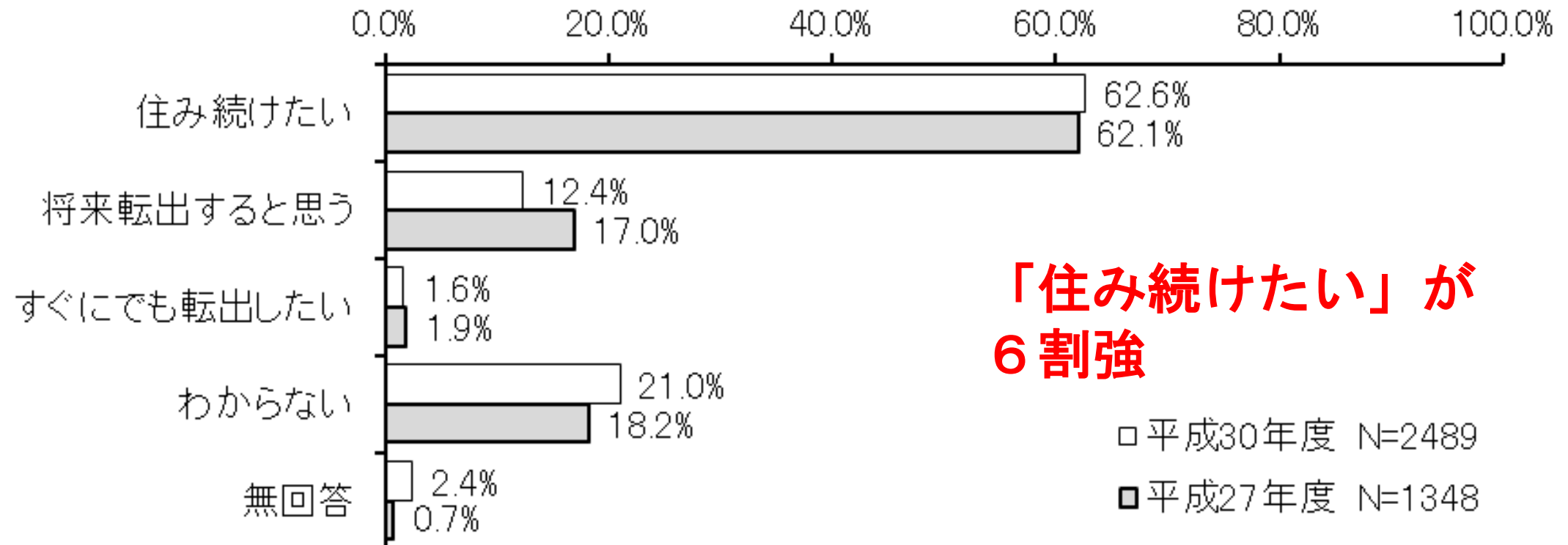
問 やや住みにくい、住みにくいと感じる理由は何ですか。
 ※上位4位まで



市民意識調査の結果

2. 定住意向

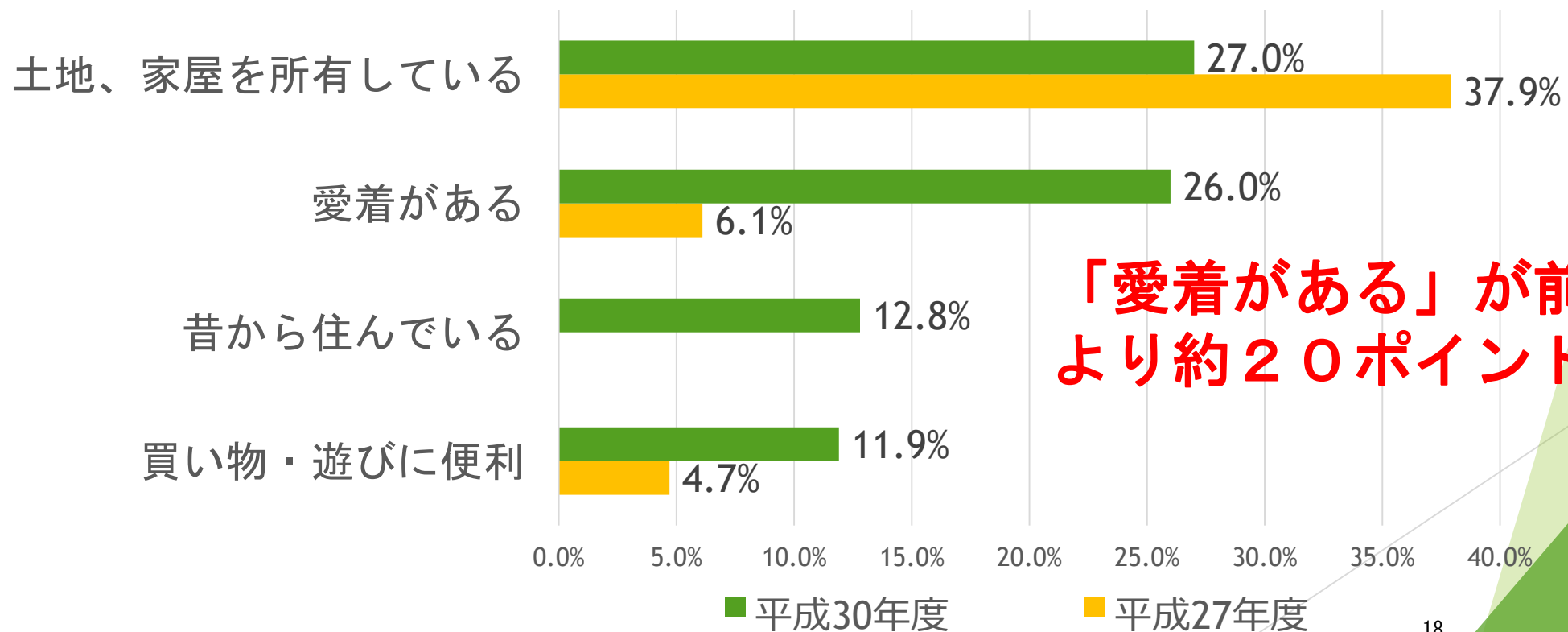
問 今後も現在お住いの場所に住み続けたいと思いますか。



市民意識調査の結果

2. 定住意向

問 住み続けたいと思う理由は何ですか。 ※上位4位まで

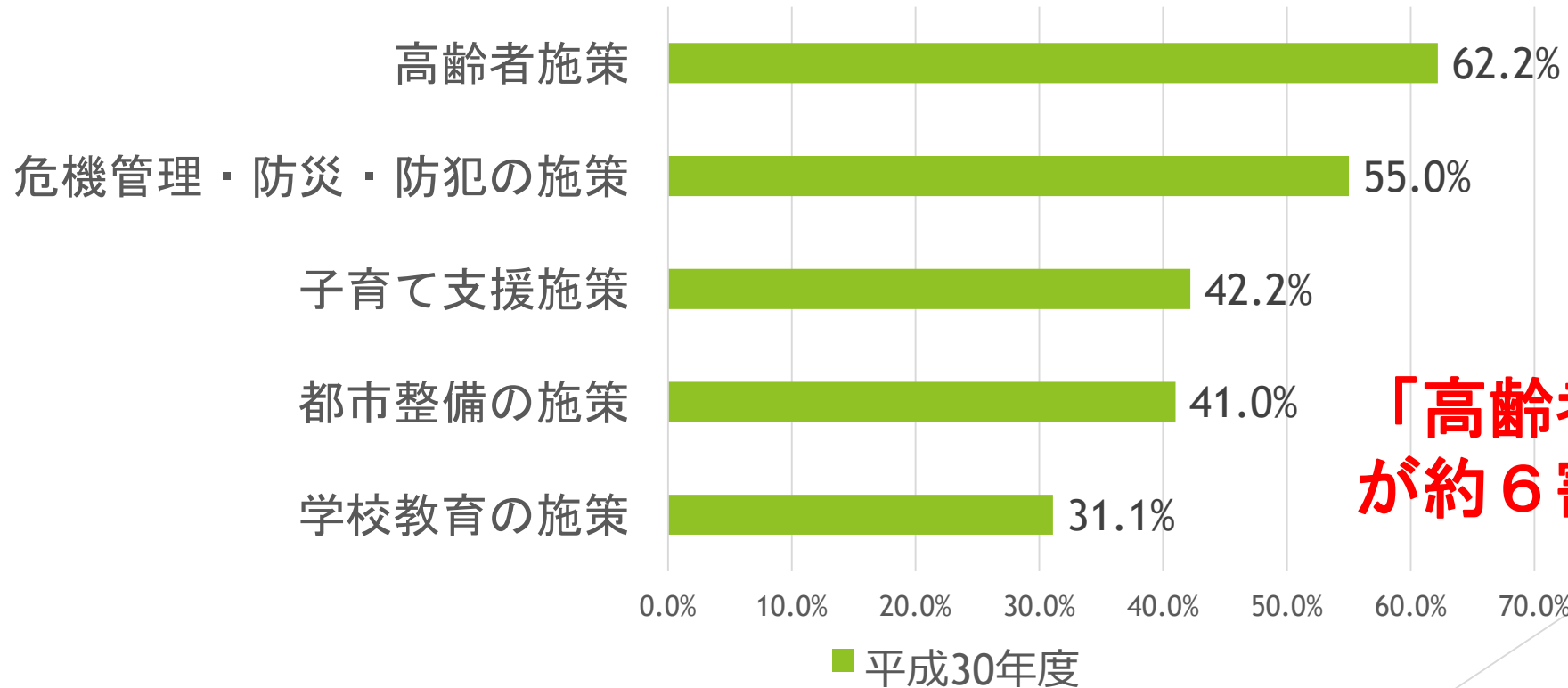


「愛着がある」が前回より約20ポイント増加

市民意識調査の結果

3. 市政全般について（施策の重要度）

問 特に重要だと思うものは何ですか。 ※上位5位まで



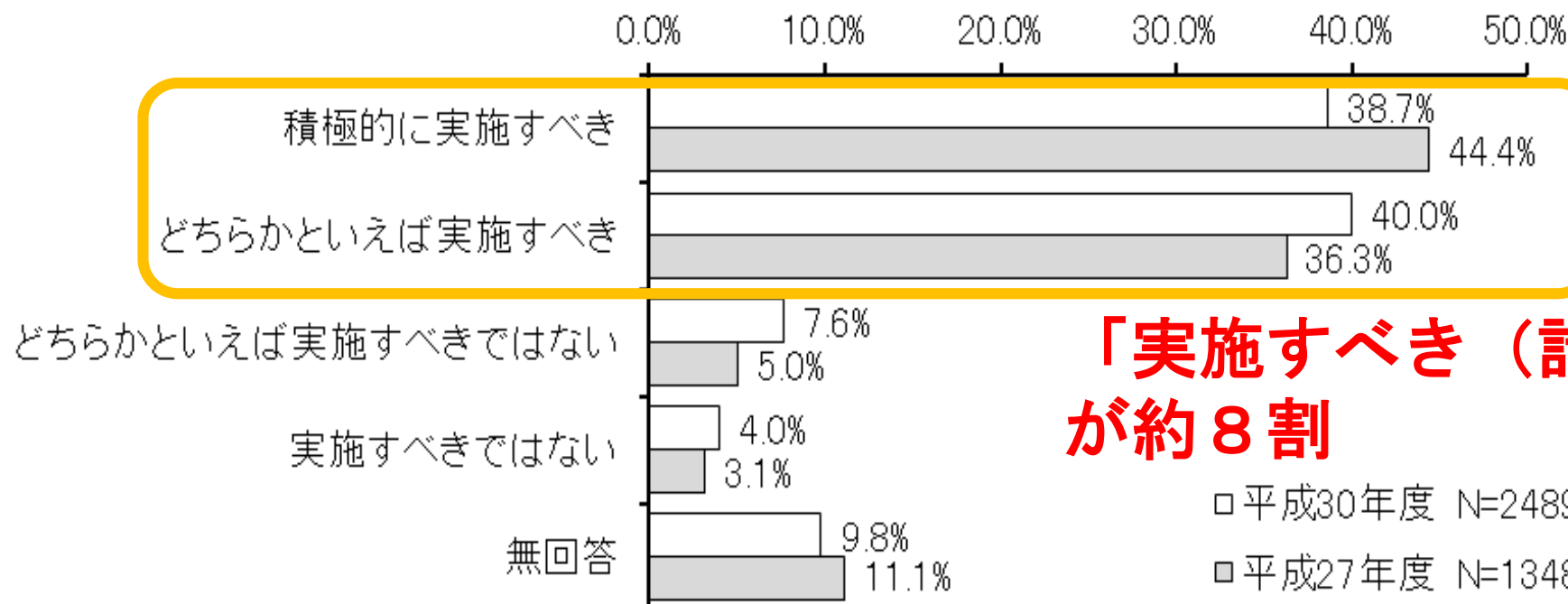
「高齢者施策」
が約6割

市民意識調査の結果

4. 公共施設再生について

問 公共施設に関して本市が検討している下記の方策について、
あなたはごどう思いますか。

○利用していない市の土地を売ったり、貸したりして収入を得る



**「実施すべき（計）」
が約8割**

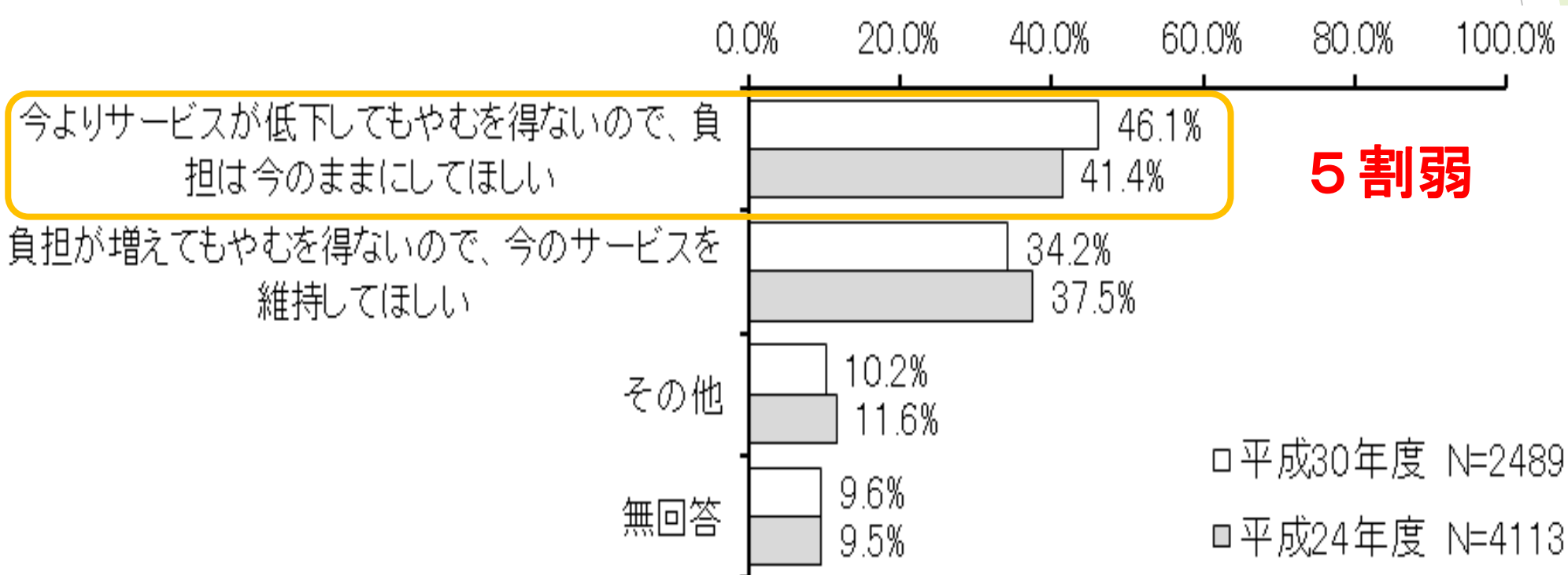
□平成30年度 N=2489

□平成27年度 N=1348

市民意識調査結果

5. 財政健全化

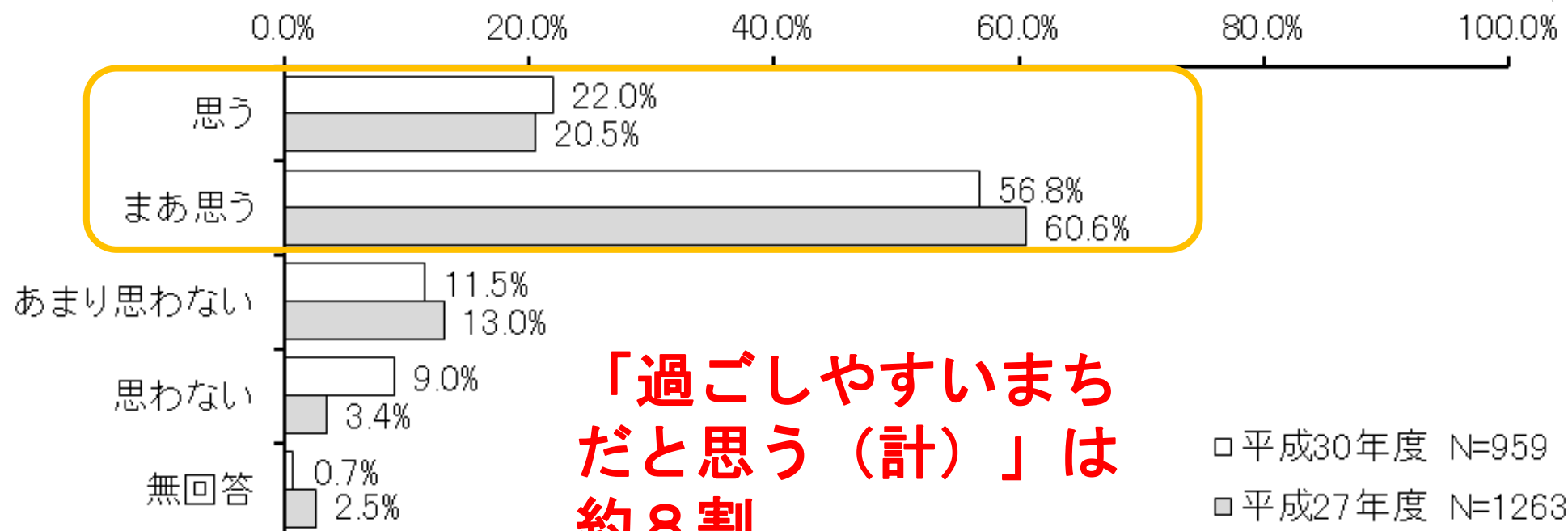
問 サービスと負担についてどう考えますか。



大学生意識調査結果

6. 習志野市について

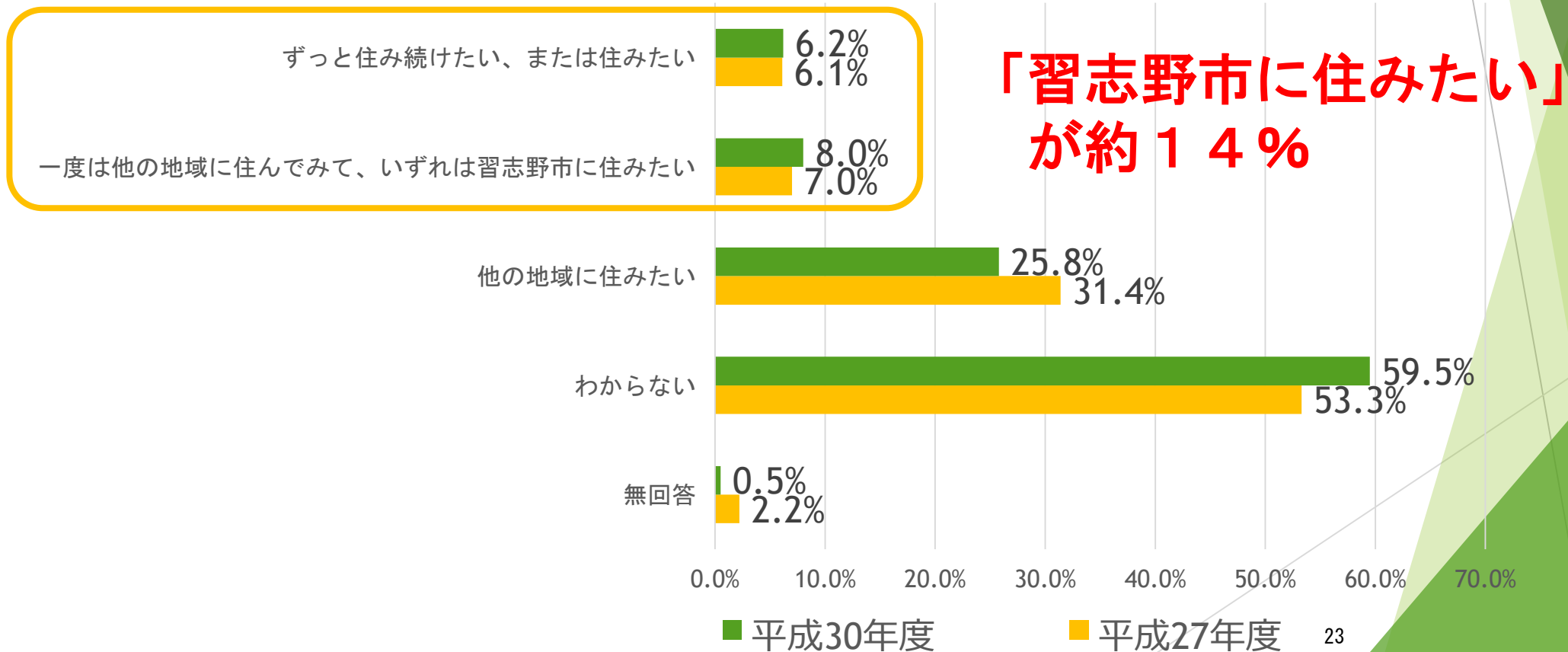
問 習志野市は大学生を送るうえで、過ごしやすいまちだと思えますか。



大学生意識調査結果

6. 習志野市について

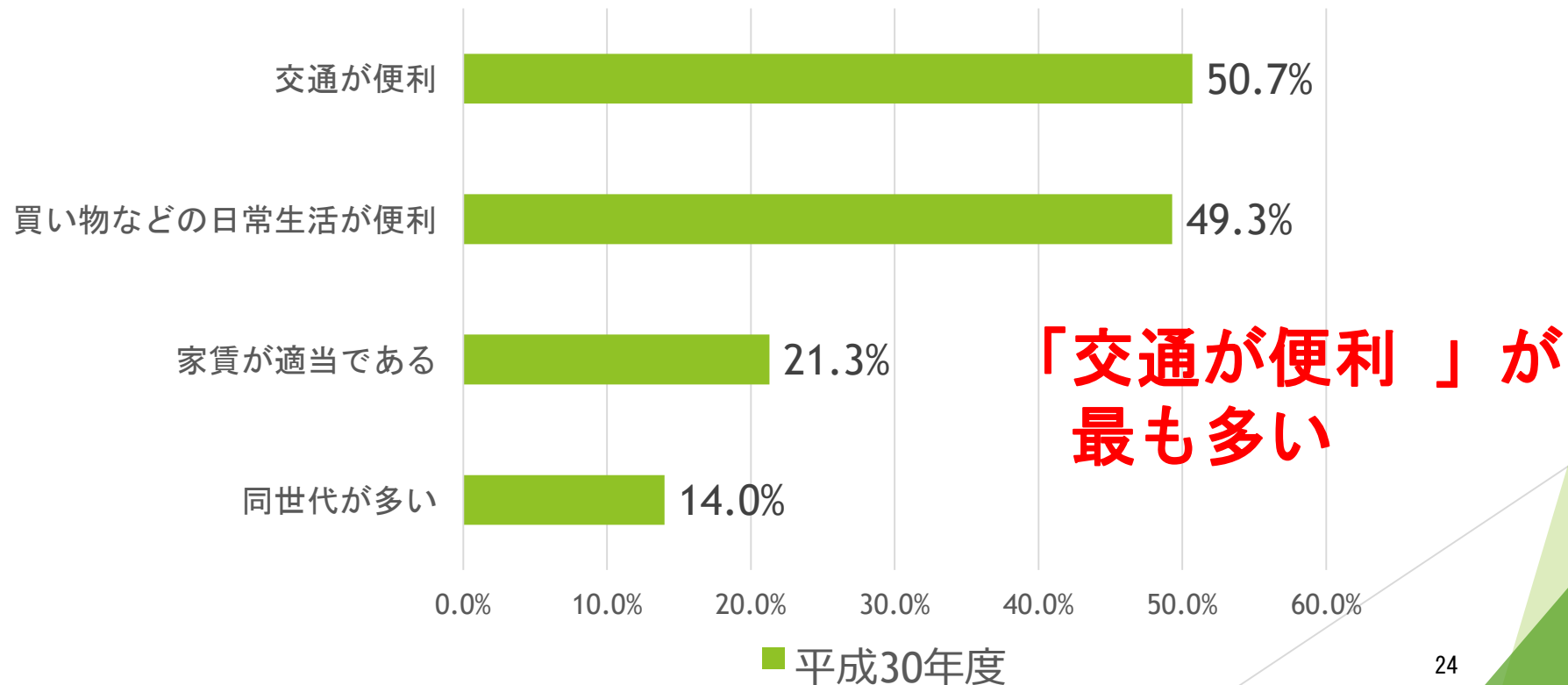
問 習志野市に住みたい・住み続けたいと思いますか。



大学生意識調査結果

6. 習志野市について

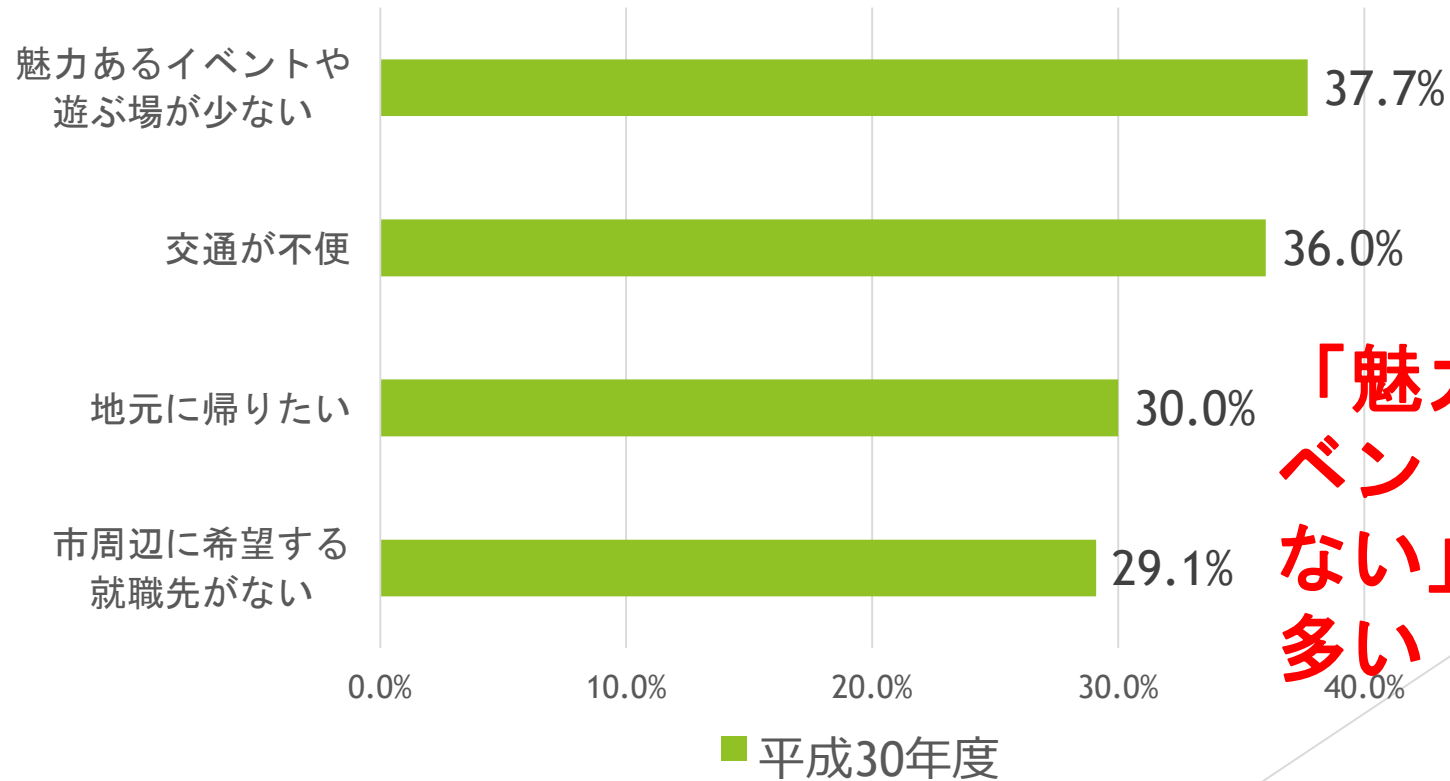
問 「住みたい・住み続けたい」の理由を教えてください。
 ※上位4位まで



大学生意識調査

6. 習志野市について

問 「他の地域に住みたい」の理由を教えてください。
※上位4位まで



「魅力あるイベント等が少ない」が最も多い

市民意見交換会について

市民意見交換会について

市民から「習志野市らしさ」や「より豊かな」まちを継承していく上で必要なことなど、計画策定に向けた意見を直接伺い、展開していく施策等に反映することを目的に実施

第1回

日時 令和元年6月1日（土）9：30から12：00
場所 実籾コミュニティホール
参加者 11人（無作為抽出6人、子育て等地域活動団体等5人）

第2回

日時 令和元年6月9日（日）13：30から16：00
場所 市庁舎グランドフロア会議室
参加者 12人（無作為抽出5人、子育て等地域活動団体等7人）

当日の意見から① A or B (公共施設再生、ごみの受益者負担、情報発信)

- ▶ 廃止される施設の利用者や周辺住民に対する配慮も必要であり、移動手段の検討や、人口増加策、民間との連携などの対策をしっかりとしないといけないが、その点が不足しているのではないか。
- ▶ 人口減少が進む中で、公共施設の総量を減らすことはやむを得ないとも思う。
- ▶ 受益者負担もある程度必要。何もかも無料は、ちょっといかなものか。タダなら使おう、がないとは言えない。少くから負担しても。
- ▶ このこと（公共施設再生）を理解してもらうための行政からの情報発信がまだまだ足りない。
- ▶ 情報をどうすれば受け取れるのか。でも、私たち自身も聞きにいけない面がある。
- ▶ もっと市民、巻き込んでいいと思います。広報活動大事
- ▶ 減少幅が少なくなっているとはいえ、ごみの量は減少しているのだから(受益者負担は)不要。
- ▶ (ごみの) 減量のための分別等、個人のマナーに頼るのは限界がある。最終処分を他の町にお願いしていることなどを考えても、受益者負担はやむを得ない。
- ▶ 受益者負担の前にもっと啓発努力が必要。まだまだ足りない。

当日の意見から ②参加した感想

- ▶ 習志野はみんな、ちょうどいいと思っている
- ▶ これからは公共+差別化+ビジネス視点で
- ▶ 子供たちの“ふるさと”になる場所、子供たちが大好きなふるさとになってほしい
- ▶ 再確認 小学校は大事、習志野市って良いなあ
- ▶ 自分が思っていた以上に、習志野が好きになっていること
- ▶ もっと習志野市のよいところを伝えたい！！
- ▶ 小さい習志野 コンパクトにぎゅっつつめこめ！！
- ▶ 住みやすいと市民は思っている。今があるので、「面白いね」が生まれる事を期待します。
- ▶ 面白い事や笑顔には人が集まると思います
- ▶ 多くの人に知られ、満足度の高い市になってほしい
- ▶ 愛着と人口増加をどうつなげるかが、一つのカギになると思う
- ▶ 習志野市に住みたいと思わせるものをつくることが重要だと思う

当日の意見から ③参加した感想

- ▶ 市の取り組みを知らない私でも楽しく参加できたのが良かった
- ▶ 知らないことが沢山あったので、わからなかった事が理解できた
- ▶ 意識や関心の高い方が多いことに気づいた
- ▶ 当事者にならないと、言えない、分からないでは困る
- ▶ 無関心を反省
- ▶ 知らないことが多いこと、それを知りたいと思っていることに気づいた
- ▶ 習志野市の政策が（何をしているのか）わかった → 発信していきたいと思った
- ▶ 自分以外の習志野市民と話す機会があまりなかったが、楽しく習志野市の事で交流がもてたのはとてもよかった
- ▶ それぞれの世代と環境で、習志野市に対する思いはちがう
- ▶ 色々な人のやりたいことを満足するのは大変だと感じました
- ▶ 習志野市でもお金のかかることがたくさんあることを再認識しましたが、将来の子や孫のためにも、それこそ、安心・安全な生活が送れたらと思います



ご清聴ありがとうございました。

公共施設のことについては...

50

~~30~~

100

- こういう小情報には、どこで"手に入る?!"
- '谷津・津小方面の"学校のセビ"に集中してる!!
- サギ小、ぼろぼろです... トイレはたまたま。
- ★ 秋田は民間かん
- 今回がたいたい、オ-ンタ-ン会をもっとひらいてら!!
市は小情報を出していきけど、
私は、どうやってら受けとれる?

私たちも
さきにいつて
いけよ!!